

# KISSEI

証券コード：4547

## 決算補足資料

平成30年3月期 第3四半期

2018年（平成30年）1月31日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

# 目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	.....	P 1
I. 連結損益計算書の推移	.....	P 2
II. キッセイ薬品単体損益計算書の推移	.....	P 3
III. 主な医薬品の売上推移	.....	P 4
IV. 新薬開発状況（自社）	.....	P 5
V. 新薬開発状況（導出）	.....	P 5

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2018年1月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

## 【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

### ・売上高（医薬品事業）の状況

医薬品事業の売上高は、498億3千1百万円（前年同期比5.3%増）となりました。長期収載医薬品などが減少いたしました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」、糖尿病治療薬「グルベス配合錠」などの売上が増加いたしましたことに加え、輸出売上や技術料売上が増加いたしましたことなどにより増収となりました。なお、EAファーマ株式会社と共同開発を行いました潰瘍性大腸炎治療薬「レクタブル2mg注腸フォーム14回」を昨年12月に新発売いたしました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドン（一般名、日本製品名ユリーフ）の欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

### ・売上高（その他の事業）の状況

その他の事業の売上高は、69億5千9百万円（前年同期比4.8%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

### ・利益の状況

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたものの、増収に加えて、その他の事業の減収を主要因とする売上原価率の低下などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

### ・研究開発の状況

昨年9月にピートルチュアブル錠の剤形追加（顆粒剤）の承認申請を行いましたほか、同月には、過活動膀胱治療薬KRP-114V（開発番号、一般名：ビベグロン）について当社との共同開発先であります杏林製薬株式会社より承認申請が行われました。昨年6月にビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）との間で、日本での独占的開発・販売権取得に関する契約を締結いたしました補体C5a受容体阻害剤CCX168（開発番号、一般名：アバコパン）は、第I相臨床試験を開始しております。また、JCRファーマ株式会社と共同開発を行っております持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ（一般名）のバイオ後続品JR-131（開発番号）の第III相臨床試験において、ダルベポエチンアルファ（先行バイオ医薬品）との同等性が検証されました。なお、一昨年7月に承認申請を行いましたグルベス配合錠の剤形追加（口腔内崩壊錠）につきましては、昨年6月に承認申請を一旦取り下げ、追加試験を実施しております。

# I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	'17(H29)年3月期		'18(H30)年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	54,609	71,706	56,790	4.0%	75,000	4.6%
キッセイ薬品	47,301	61,454	49,831	5.3%	64,000	4.1%
その他の事業	7,308	10,251	6,959	△4.8%	11,000	7.3%
(売上高のうち輸出)	(4,487)	(6,318)	(6,371)	(42.0%)	(8,110)	(28.4%)
売上原価	18,688	25,075	19,354	3.6%	26,700	6.5%
(原価率%)	(34.2)	(35.0)	(34.1)		(35.6)	
売上総利益	35,921	46,631	37,435	4.2%	48,300	3.6%
販売費及び一般管理費	28,182	38,140	28,981	2.8%	38,800	1.7%
研究開発費	9,834	13,877	11,045	12.3%	14,700	5.9%
(売上高比%)	(18.0)	(19.4)	(19.5)		(19.6)	
営業利益	7,738	8,491	8,453	9.2%	9,500	11.9%
(売上高比%)	(14.2)	(11.8)	(14.9)		(12.7)	
営業外収益	1,282	1,271	1,853	44.5%	1,800	41.6%
受取利息及び配当金	861	963	941	9.4%		
その他の収益	420	308	911	116.4%		
営業外費用	105	124	77	△26.7%	200	61.3%
支払利息	18	24	17	△4.4%		
その他の費用	86	100	59	△31.5%		
経常利益	8,914	9,638	10,229	14.7%	11,100	15.2%
(売上高比%)	(16.3)	(13.4)	(18.0)		(14.8)	
特別利益	670	670	319	△52.4%	320	△52.2%
特別損失	118	192	14	△87.8%	20	△89.6%
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,466	10,116	10,533	11.3%	11,400	12.7%
法人税、住民税及び事業税	1,838	2,291	2,634	43.3%	3,200	39.7%
法人税等調整額	562	59	△180	△132.2%	△440	△845.8%
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	22	39	28	28.9%	40	2.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,043	7,726	8,052	14.3%	8,600	11.3%
(売上高比%)	(12.9)	(10.8)	(14.2)		(11.5)	

## II. キッセイ薬品単体損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期		'18(H30)年3月期			
	'17(H29)年3月期		第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計			
売上高	47,301	61,454	49,831	5.3%	64,000	4.1%
医薬品	39,292	51,072	41,480	5.6%	53,600	4.9%
ヘルスクエア食品	2,934	3,840	2,931	△0.1%	3,950	2.9%
その他*	5,074	6,541	5,418	6.8%	6,450	△1.4%
(売上高のうち輸出)	(4,466)	(6,297)	(6,364)	(42.5%)	(8,100)	(28.6%)
売上原価	13,474	17,700	14,448	7.2%	18,600	5.1%
(原価率%)	(28.5)	(28.8)	(29.0)		(29.1)	
売上総利益	33,827	43,754	35,382	4.6%	45,400	3.8%
販売費及び一般管理費	26,651	36,083	27,361	2.7%	36,600	1.4%
販売費	14,043	18,370	13,364	△4.8%	18,100	△1.5%
一般管理費	2,660	3,690	2,851	7.2%	3,800	3.0%
研究開発費	9,947	14,021	11,145	12.0%	14,700	4.8%
(売上高比%)	(21.0)	(22.8)	(22.4)		(23.0)	
営業利益	7,175	7,670	8,020	11.8%	8,800	14.7%
(売上高比%)	(15.2)	(12.5)	(16.1)		(13.8)	
営業外収益	1,333	1,340	1,908	43.2%	1,800	34.3%
受取利息及び配当金	854	955	936	9.5%		
その他の収益	478	385	972	103.2%		
営業外費用	155	191	118	△23.6%	200	4.7%
支払利息	11	15	11	△1.5%		
その他の費用	144	176	107	△25.4%		
経常利益	8,353	8,819	9,810	17.4%	10,400	17.9%
(売上高比%)	(17.7)	(14.4)	(19.7)		(16.3)	
特別利益	670	806	319	△52.4%	320	△60.3%
特別損失	60	80	14	△75.6%	20	△75.0%
税引前四半期(当期)純利益	8,963	9,545	10,114	12.8%	10,700	12.1%
法人税、住民税及び事業税	1,780	2,134	2,551	43.3%	3,000	40.6%
法人税等調整額	450	11	△240	△153.5%	△500	—
四半期(当期)純利益	6,733	7,400	7,803	15.9%	8,200	10.8%
(売上高比%)	(14.2)	(12.0)	(15.7)		(12.8)	

\*国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額

### Ⅲ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	'17(H29)年3月期		'18(H30)年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
排尿障害改善薬 ユリーフ	12,466	16,164	13,324	6.9%	17,000	5.2%
糖尿病治療薬 グルバス	3,243	4,204	3,481	7.3%	4,500	7.0%
糖尿病治療薬 グルファスト	2,975	3,681	2,285	△23.2%	2,800	△23.9%
高リン血症治療薬 ピートル	2,281	3,070	3,361	47.4%	4,800	56.4%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,191	1,526	1,242	4.3%	1,650	8.1%
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	-	-	183	-	-	-
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	4,571	5,792	4,724	3.4%	6,000	3.6%
高脂血症治療薬 ベザトール	2,400	3,016	2,106	△12.3%	2,550	△15.5%
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	1,854	2,296	1,581	△14.7%	1,950	△15.1%
脳循環改善薬 キサンボン	469	563	405	△13.8%	500	△11.2%
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	682	1,141	582	△14.6%	1,000	△12.4%
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	746	959	671	△10.0%	820	△14.5%
気管支喘息治療薬 ドメナン	96	122	82	△13.9%	110	△9.8%
血液凝固阻止剤 フラグミン	164	201	147	△10.2%	170	△15.4%
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	453	577	440	△2.9%	580	0.5%
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	492	624	462	△6.2%	580	△7.1%

## IV. 新薬開発状況（自社）

（平成30年1月現在）

開発段階	製品名／ 開発番号 （一般名）	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
承認申請中	KRP-114V (ビベグロン)	導入品／杏林製薬 共同開発	過活動膀胱	β3アドレナリン受容体 刺激作用	
	ピートル® (スクロオキシ水酸化鉄)	導入品／ピフォー・フレゼ ニウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	透析中の慢性腎臓病 患者における高リン血症 の改善	リン吸着作用	剤形追加 (顆粒剤)
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロバチレリン)	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	
	AJM300 (カコテグラストメチル)	導入品／EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	JR-131	導入品／JCRファーマ 共同開発	腎性貧血	赤血球増加作用	ダルベオエチンアルファ バイオ後続品
第Ⅱ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品／丸石製薬 共同開発	透析患者における そう痒症	κオピオイド受容体刺激 作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・イー・シー、 東京大学、日本医療研究 開発機構(AMED)	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクロー ナル抗体	
第Ⅰ相	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激 作用	
	CCX168 (アバコパン)	導入品／ピフォー・フレゼ ニウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	抗好中球細胞質抗体 (ANCA)関連血管炎	補体C5a受容体阻害 作用	

※ 前回公表時（平成29年11月）からの変更点：レクタブル®…12月7日より新発売

## V. 新薬開発状況（導出）

（平成30年1月現在）

開発段階	開発番号／ 一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	イーザイ(日本)	アセアン*1	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (sildenafil)		アセアン、インド、スリランカ*2	前立腺肥大症に 伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、 切迫早産	β2アドレナリン受容体 刺激作用
	KLH-2109	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2アドレナリン受容体 刺激作用

※ 前回公表時（平成29年11月）からの変更点：なし

\*1：発売：タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、申請中：2カ国

\*2：発売：タイ、インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、承認：マレーシア、申請中：アセアン2カ国